

底抜け西部へ行く (1956)

PARDNERS

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 90分

初公開日 1956/12/15

公開情報 P A R

【解説】

マーティン&ルイスのコンビの15作目。19世紀末アリゾナの牧場で、牧場主と牧童頭が賊に殺された。歳月は流れ、彼らの二人の遺児、都会育ちのウェイド（ルイス）と西部育ちのスリム（マーティン）は、故郷の牧場の経営不振を救うため西部にやって来る。そこでは2人の父親を殺した賊の息子たちが正体を隠して悪事を働いていた。現在の牧童頭は牧場乗っ取りを企て、賊のボスと秘かに通じている。ウェイドは身元がバレてはと“殺し屋ジョーンズ”と名乗ることにしたが……。ルイスとマーティンは殺された父親役はもちろん、残された赤ん坊を含めて6役をこなす活躍ぶり。コンビ初の西部劇で大暴れを繰り広げて痛快だが、ますます絶好調のルイスに対して、悪くいえば歌うしか能のないマーティンはルイスの暴走演技の受けにますます押されっぱなし。新たにコンビ契約を9本したにもかかわらず、次回作でコンビが解消されることを考えると、本当に楽しんでやっていたかも疑いたくもなる。脚本S・シェルダンは、後のベストセラー作家。無名時代のC・イーストウッドが町の青年役で数分間出演。後の「夕陽のガンマン」のコンビL・V・クリーフも脇役出演している。

【クレジット】

監督	ノーマン・タウログ	Norman Taurog
製作	ポール・ジョーンズ	Paul Jones
原案	マーヴィン・J・ハウザー	Mervin J. Houser
	ジェリー・デイヴィス	Jerry Davis
脚本	シドニー・シェルダン	Sidney Sheldon
撮影	ダニエル・L・ファップ	Daniel L. Fapp
音楽	フランク・デ・ヴォール	Frank De Vol
出演	ディーン・マーティン	Dean Martin
	ジェリー・ルイス	Jerry Lewis
	ロリ・ネルソン	Lori Nelson
	ジャッキー・ローフリー	Jackie Loughery
	ジョン・バラグレイ	John Baragrey
	アグネス・ムーアヘッド	Agnes Moorehead
	ジェフ・モロー	Jeff Morrow
	ロン・チェイニー・Jr	Lon Chaney Jr.
	クリント・イーストウッド	Clint Eastwood
	リー・ヴァン・クリーフ	Lee Van Cleef